

世界バドミントン連盟が主催するワールドツアーの中で、上から3番目の「Super500」という格付けに分類される大会が、令和5年から4年間、熊本で初めて開催されます。

世界で活躍する選手たちが一堂に会し競い合うこの大会には、町内企業である再春館製薬所に所属する選手も出場予定。

来月から同所所属の選手たちを紹介します。

熊本マスタースジャパン 2023

令和5年

11月14日(火)~19日(日)



Super500 熊本で初開催

MASHIKI TOWN CHIIKI- OKOSHI

「まち全体が
学びの場」

Vol.45



地域おこし協力隊
井下友梨花さん

AI時代のキャリア教育

テレビを見ていると、「今世の中にある仕事の〇%は、数年後にはなくなる…?」という話題を目にすることがあります。

技術革新によりタスクが自動化されることで、これからの仕事はどうなっていくのでしょうか。そのような中で、どのようにキャリアを積み上げていけばいいのでしょうか。

町内の中学校では、3学期に1年生を対象とした職業講話の授業がありました。講師一人の話全員で聞くのではなく、複数名のゲストの中から、自分で選んで話を聞きに行くスタイルでした。

さまざまな人生に触れること。自分の心の動きを感じる。自分で決めること。なんでもやってみること。これらの繰り返し、正解が分からない中での、納得感があるキャリア形成につながっていくように感じます。

MASHIKI TOWN CHIIKI- OKOSHI

「町に虹色の
輝きを」

Vol.11



竹灯笼に使用する竹を
下見する様子@寺迫



地域おこし協力隊
吉海雄大さん

つどいの場を引き継ぐ

関東大震災から100年の節目を迎える今年、熊本地震からは7年を迎えます。

熊本地震の発生から月日がたち、普段の暮らしの中で当時の緊張を感じることは少なくなりました。生活や仕事、学校など多くの時間が日常に置き換わる中、前震の日である4月14日、「つどいの場」の開催をお手伝いするご縁をいただきました。このつどいの場は、元々木山仮設団地で6年続けられてきた活動で、団地閉鎖に伴い、復興まちづくりセンターにじいろに引き継がれることになったのです。

引き継がれる過程で「熊本地震追悼の会」から「熊本地震4・14つどいの場」に名称を変更しました。当日立ち寄られる皆さんと、竹灯笼に明かりを灯し、大切な時間がにじいろを起点として長く紡がれていくことを願います。